

「登録室便り・紹介」の現在過去未来



田中 英夫 顧問

日本がん登録協議会

本協議会のニュースレターは、日頃顔を合わすことのない各県の地域がん登録室職員のがん登録に関する情報交換を図るために、1997年1月に発刊されました。その目的のうちで重要な企画が「登録室便り」(2011年No.29から「登録室紹介」に名称変更)であると思われます。この連載は第1号の兵庫県石田輝子先生からスタートし、途切れることなく今年の2月号まで45回続いています(表1)。

発行年	都道府県	所属	執筆者(敬称略)
1997年1月	兵庫県	兵庫県立成人病センター	石田輝子
1998年1月	愛知県	愛知県衛生部保健予防課	犬塚 君雄
1998年8月	広島市	放射線影響研究所疫学部	馬淵 清彦
1999年1月	広島市	放射線影響研究所疫学部	馬淵 清彦
1999年8月	神奈川県	神奈川県立がんセンター臨床研究所疫学	岡本直幸
2000年1月	山形県	山形県立成人病センター	松田徹
2000年8月	福井県	福井県立病院	服部 昌和
2001年8月	長崎県	放射線影響研究所疫学部腫瘍組織登録室	早田みどり
2002年1月	宮城県	東北大学大学院公衆衛生学	坪野 吉孝
2003年1月	佐賀県	佐賀医科大学社会医学講座	田中 恵太郎
2003年8月	千葉県	千葉県がんセンター研究局疫学研究部	三上 春夫
2004年2月	新潟県	新潟県立がんセンター	小越 和栄
2004年8月	鳥取県	鳥取県健康対策協議会	岡本幹三/岸本 拓治
2005年1月	岡山県	岡山県医師会情報管理課	影須 和佳栄/笠井 英夫
2005年8月	沖縄県	沖縄県衛生環境研究所企画情報室	仲程 京子
2006年2月	大阪府	大阪府立成人病センター調査部	津熊 秀明
2006年8月	滋賀県	滋賀県衛生科学センター	小川 美佐子
2007年2月	熊本県	熊本県健康福祉部健康づくり推進課	中村 貴美枝
2007年7月	山口県	山口県健康福祉部 健康増進課	石丸 泰隆
2008年2月	岩手県	岩手県地域がん登録運営委員会	八重樫 雄一
2008年7月	栃木県	栃木県立がんセンター研究所 疫学研究室	大木 いずみ
2009年2月	群馬県	群馬県健康づくり財団 群馬県がん登録室	茂木 文孝
2009年7月	愛知県	愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部 がん情報研究室	伊藤 秀美
2010年2月	茨城県	茨城県保健福祉部保健予防課	山浦 俊一
2010年8月	山梨県	山梨県福祉保健部 健康増進課	-
2011年2月	高知県	高知大学教育研究部医療学系連携医学部門	安田 誠史
2011年7月	福井県	福井県健康福祉部健康増進課	野村 佳代
2012年2月	秋田県	秋田県総合保健事業団 疾病登録室	戸堀 文雄
2013年7月	東京都	東京都福祉保健局健康推進課 東京地域がん登録室	田淵 健
2013年7月	広島県	社団法人広島県医師会 学術課	佐藤 圭介
2014年2月	福島県	公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター	鈴木 剛弘
2014年7月	大分県	大分県福祉保健部健康対策課	-
	京都府	一般社団法人京都府医師会 地域医療1課	田中 秀和
2015年2月	青森県	弘前大学大学院 医学研究科 地域がん疫学講座	松坂 方士
	愛媛県	四国がんセンター 愛媛県地域がん登録室	白岡 佳樹
2015年7月	岐阜県	岐阜県健康福祉部保健医療課	有賀 玲子
	三重県	三重県地域がん登録室	福留 寿生
2016年2月	岡山県	岡山大学病院 岡山県がん登録室	大塚 理可
	和歌山県	和歌山県福祉保健部 健康推進課 がん・疾病対策班	瀬川 尊貴
2016年5月	神奈川県	神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん予防・情報学部	片山佳代子
2017年2月	福岡県	福岡県保健環境研究所	-
	兵庫県	兵庫県健康福祉部健康局 疾病対策課 がん・難病対策班	西村 牧子
2017年5月	島根県	島根大学医学部附属病院 島根県がん登録室	中林 愛恵
2017年9月	北海道	北海道がんセンター 北海道がん登録室	齋藤 真美
2018年2月	鹿児島県	公益財団法人鹿児島県民総合保健センター 鹿児島県がん登録室	-

表1.登録室だより・紹介年表

これまで執筆を担当された県を見ますと、3回以上が広島県(市)で、2回が神奈川などの5県、1回が32県、執筆のない県は残すところ9県となりました(図1)。



図1.登録室便り・紹介に寄稿のあった県

また、この45回の執筆者の所属を見ますと、県庁関係が13名、県がん・成人病センター(県立病院を含む)が11名、大学・大学病院関係が8名、県衛生研究所、健康づくり財団等、県医師会がそれぞれ3名、その他の施設が4名となっています。執筆者のお名前を見ますと、現在JACRの役員、専門委員でご活躍の方や、これまで各県の地域がん登録の発展に貢献された懐かしい方のお名前を見出すことができました(表1)。また、「登録室便り・紹介」を補完する形で2011年No.29からスタートしました「登録室リレー随筆」は、登録室で働く方々の様子に焦点を当てた内容で、現在までに9県で執筆されました(図2)。

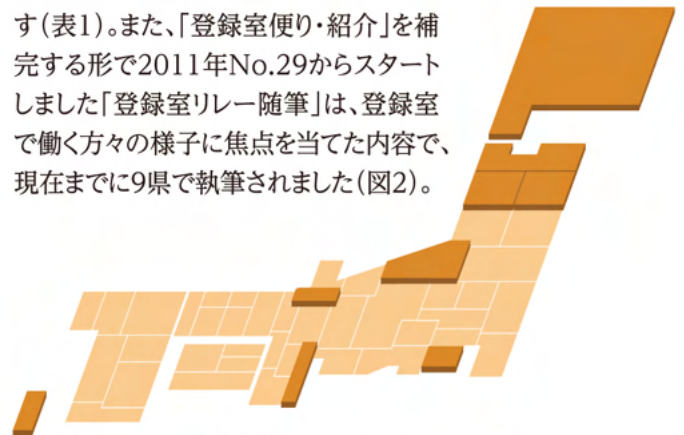


図2.登録室リレー随筆に寄稿のあった県

JACRのホームページにも掲載されていますこの2つの連載を読み直しますと、過去20年余りの間に各県の担当者がそれぞれどのような思いで創意工夫を凝らし、地道な登録事業に向き合って来たかがよくわかります。これらの地域がん登録の軌跡を踏まえて、各県のがん対策の羅針盤となる都道府県がん登録資料を効果的に利活用し、それぞれの県のがん対策が一步でも前進するように関係者のご尽力がいただけることを願います。合わせてこの2つの企画が今後とも各県の情報交換の有力なツールとして継続されることを期待します。